



2024年6月17日

各 位

会 社 名 マクニカホールディングス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 原 一将
(コード番号：3132 東証プライム)
問 合 せ 先 常務執行役員 大河原 誠
(TEL 045-470-8980)

SBT 認定取得に関するお知らせ ～温室効果ガス排出削減で「1.5℃水準」の認定～

当社は、2030年度の温室効果ガス（GHG）排出削減目標について、「Science Based Targets initiative（以下 SBTi）」^{※1}より、パリ協定の「1.5℃目標」^{※2}を達成するための科学的根拠に基づいた目標として認定を取得したことをお知らせいたします。

【SBT 認定された当社の温室効果ガスの削減目標】

Scope1, 2	2022年度比	2030年度	▲42%
Scope3	2022年度比	2030年度	▲25%

(SBTi 原文)

MACNICA HOLDINGS, INC. commits to reduce absolute scope 1 and 2 GHG emissions 42% by FY2030 from a FY2022 base year. MACNICA HOLDINGS, INC. also commits to reduce absolute scope 3 GHG emissions 25% within the same timeframe.



SCIENCE BASED TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

当社は、これまでもTCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）^{※3}の情報開示フレームワークに沿って気候変動関連情報の開示の充実に取り組んでまいりました。また、2022年5月9日付『「長期経営構想」及び「中期経営計画（2022～2024年度）」に関するお知らせ』にて公表した「2.1サステナビリティ基本方針②環境・人権に配慮したグローバル経営の推進とサプライチェーンの強化」、「2.2マテリアリティ③持続可能な地球環境を創る」に基づき、2023年「環境VISION」及び「環境方針」を制定しました。

当社ではこのたびのSBT認定を受け、今後もお客様やお取引先様、地域社会の皆様とも力を合わせ、グループ全体での温室効果ガス排出削減への取り組みをより加速させ、持続可能な社会の実現に貢献できるよう取り組んでまいります。

※1：CDP、国連グローバル・コンパクト、WRI（世界資源研究所）、WWF（世界自然保護基金）による国際的な共同イニシアチブ。科学的根拠に基づいてGHG排出量削減目標の検証や削減施策のベストプラクティスを推進しています。

※2：パリ協定で定められた、世界の平均気温の上昇を産業革命前と比べ1.5℃に抑えるという目標。

※3：G20からの要請を受け、金融安定理事会（FSB）が2015年に設立。気候変動によるリスク及び機会が経営に与える財務的影響を評価し、「ガバナンス」「戦略」「リスク管理」「指標と目標」について開示することを推奨しています。

(TCFD ウェブサイト：<https://www.fsb-tcfd.org/>)

【TCFD 開示に基づく当社の温室効果ガス排出量の削減目標】

指標	基準年	目標年	目標
Scope1、2 削減率	2022 年度	2030 年	▲42.0%
		2050 年	▲100%
Scope3 削減率	2022 年度	2030 年	▲25.0%

(ご参考)

■ マクニカウェブサイト サステナビリティ情報

<https://www.macnica.co.jp/company/sustainability/>

■ TCFD 提言に基づく情報開示に関するお知らせ (2023/6/26)

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/3132/tdnet/2303227/00.pdf>

■ マクニカウェブサイト 「環境 VISION」及び「環境方針」制定に関するお知らせ

https://www.macnica.co.jp/company/sustainability/environmental_vision/

以上